

使用用途 ●医療従事者・患者・入居者の手の接触面に(ドアノブ、手すり、ベッド柵、機器外装等)
●処置室・ICU(集中治療室)・手術室・フロア・トイレ等の床に



手の接触頻度の多い環境表面の清掃から、
体液・血液汚れまで**除菌**と**洗浄**が一度に出来る

除菌 洗浄がこれ1枚で

医療施設用**セーフキープ**
ペーパータイプ

注意事項

使えないもの

- 銅・真ちゅう・亜鉛・錫の金属製品
- 水がしみこむ白木・壁材・家具類
- ポリカーボネート
- ★アルミニウム、木材、合皮等は目立たない部分で影響がないことを確認してから使用する。

使用上の注意

- 取り扱い時には、手袋を使う。
- 用途外には使わない。
- 目、顔など人体や食器・食品には使用しない。
- 水に溶けないので、トイレに流さない。
- 効果が落ちるので、塩素系や還元系漂白剤との併用はしない。
- 直射日光を避け、高温の所に置かない。
- 子供の手の届く所に置かない。
- 乾燥を避けるために、使用後は必ずフタを閉める。
- 機器などに使用する場合、機器付属の「取扱説明書」をご覧のうえ、目立たない部分で試した後、お使いください。

梱内容

品名	目付 梱内容	サイズ (mm) ・重量 (高さ×幅×奥行)	JANコード
セーフキープ (本体)	140mm×200mm 80枚入 12本	個 170×107×107 335g 梱 189×450×336 4.6kg	4 901301 505958
セーフキープ (つめかえ用)	140mm×200mm 80枚入 24袋	個 170×83×65 261g 梱 191×540×300 7.0kg	4 901301 505965
セーフキープワイド (つめかえ用)	150mm×300mm 300枚入 6袋	個 155×195×195 1575g 梱 194×616×390 11.2kg	4 901301 507150
セーフキープワイド (つめかえ容器)	4個	個 190×229×229 268g 梱 301×475×245 1.6kg	4 901301 507167
セーフキープワイド ピロータイプ	200mm×300mm 35枚入 12袋	個 230×95×55 267g 梱 214×343×238 3.5kg	4 901301 509222

商品写真以外の画像に関して、
他の印刷物やWEBサイトなどでの無断使用を禁じます。

データ等は当社試験・調査結果によるものです。
セーフキープは商標です。



- 特長1** 優れた除菌性能
- 特長2** 高い洗浄力
- 特長3** 低い基材損傷性
- 特長4** 優れた拭取り性

手が頻繁に触れる環境表面や体液・血液汚れの**除菌**と**洗浄**が手軽にできるペーパータイプです

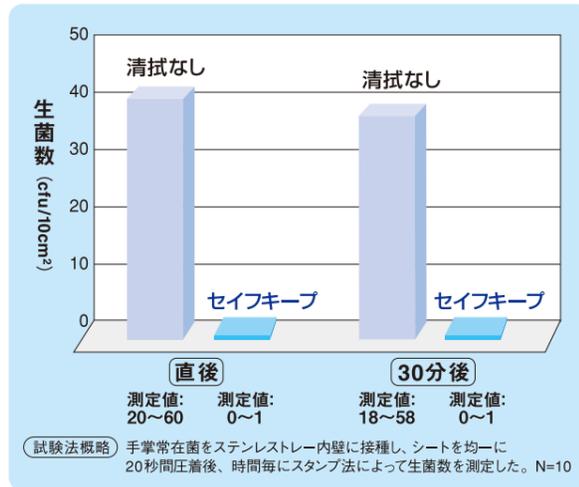
使用箇所等での使い分けが可能になりました。



特長1 優れた除菌性能

- 除菌成分*の働きで、優れた効果を発揮し、効果が持続します。

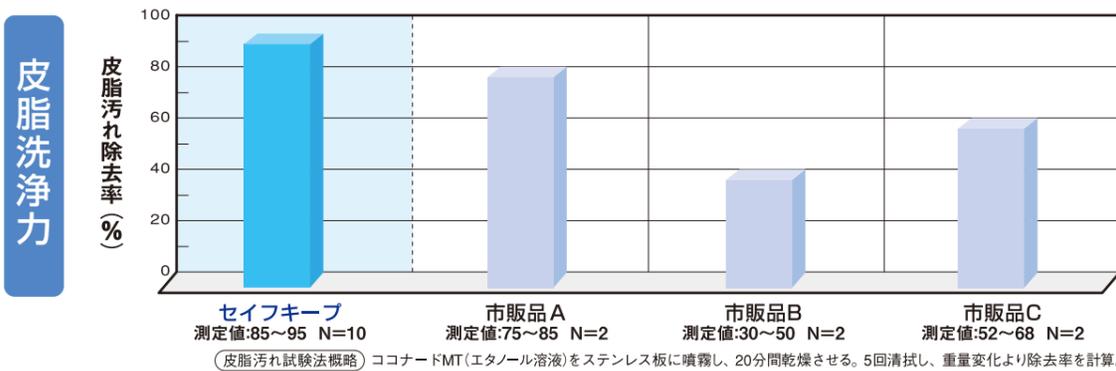
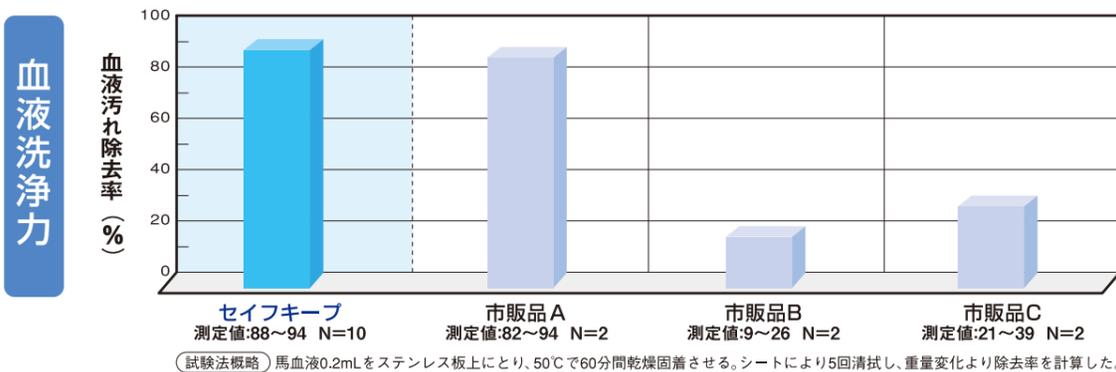
*ジデシルジメチルアンモニウムクロライド (第4級アンモニウム塩)



特長2 高い洗浄力

- 洗浄成分 (AG*1、AAO*2) の働きで、アルコール含浸ペーパーでは落としきれない手指の皮脂汚れから体液・血液汚れまで、しっかり落とします。

*1 アルキルグリコシド *2 アルキルアミノオキシド



特長3 低い基材損傷性

- 素材にやさしい洗浄成分を配合、ほとんどのプラスチックを傷めません。
- 非塩素系なので臭わず、金属を傷めません。(銅など一部金属を除く)

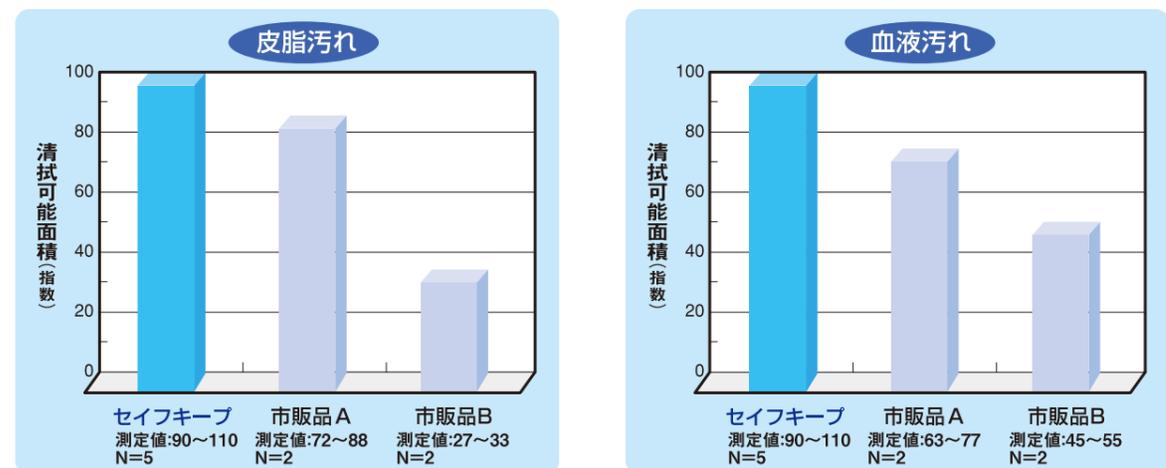
商品名	アルコールを含まない環境ペーパー		アルコールを含有する環境ペーパー	
	セーフキープ	市販品A	市販品B	市販品C
応力下(24時間接触)				
ポリエチレン	○	○	○	○
ポリプロピレン	○	○	○	○
ポリスチレン	○	○	○	×
アクリル	○	○	×	×
ABS	○	○	○	×
清拭累積 (5往復/回)				
ABS (累積30回)	○	○	○	×
ABS (累積50回)	○	○	×	×

試験法概略 厚さ1mm、幅10mm、長さ70mmの各樹脂製のテスト板に清拭シートを応力下24時間接触させ、テスト板の外観および直角に屈曲させたときの脆さを評価した。2011年花王調べ

特長4 優れた拭取り性

- アルコールを含まないので、ゆっくり乾き、広い面積を拭く事が出来ます。

1枚のシートでの清拭可能面積 (相対比較)



皮脂汚れ試験法概略 ココナードMT (赤着色) 溶解エタノール溶液を、24.5×24.5cmのステンレストレー内面に噴霧し、乾燥させた後に、各清拭シートで油汚れを清拭除去した。エタノール含浸ティッシュペーパーで拭きとり、着色の有無で皮脂汚れの残存を判断した。

血液汚れ試験法概略 馬血液水溶液を、24.5×24.5cmのステンレストレー内面に噴霧し、70℃で乾燥させた後に、各清拭シートで血液汚れを清拭除去した。アマドブラックBで染色することで血液汚れの残存を判断した。2011年花王調べ